

H19. 6. 27

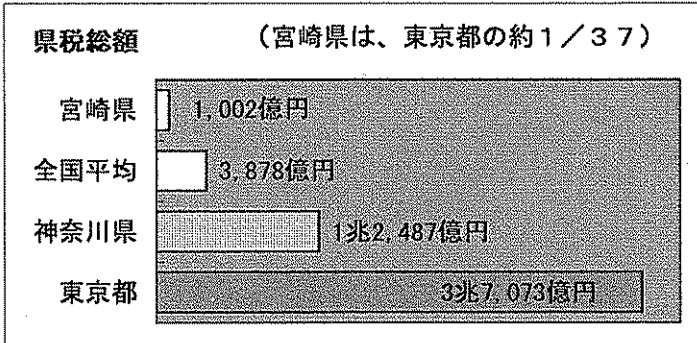
「ふるさと納税研究会」における意見

宮崎県知事 東国原 英夫

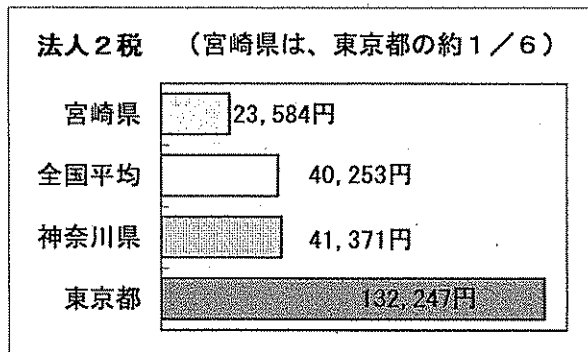
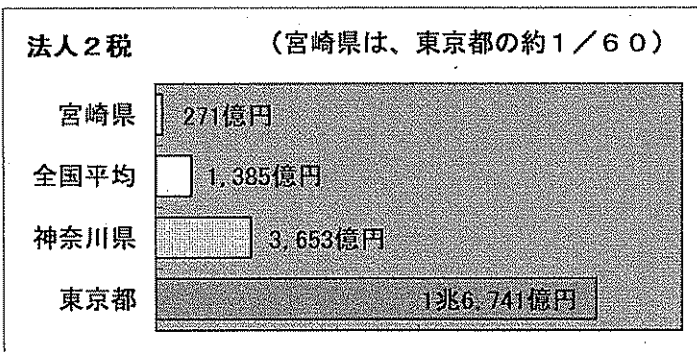
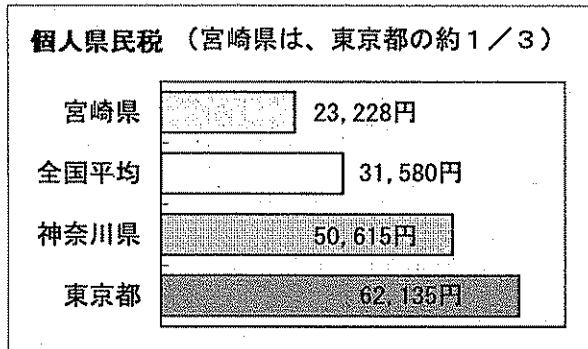
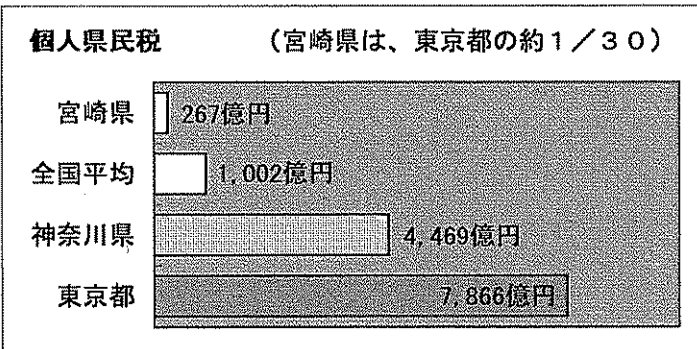
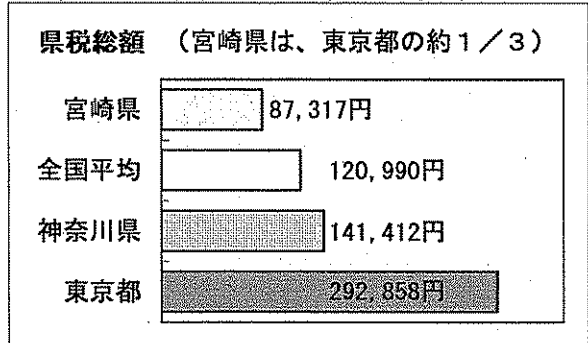
- 1 はじめに
- 2 ふるさと宮崎はいま
- 3 ふるさと納税に対する基本的な考え方
- 4 ふるさと納税による国民共通の意識形成  
～森林環境税による県民共通の意識形成～
- 5 地方税財源の充実
- 6 おわりに

## 【税目別県税収入の比較】

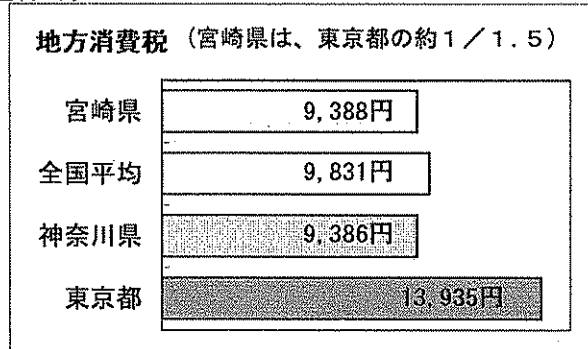
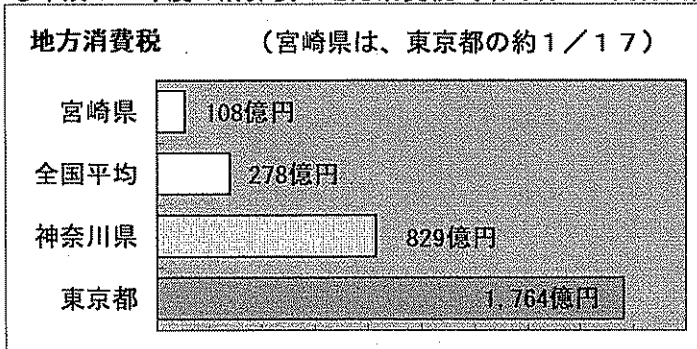
○平成19年度当初予算ベース



県民一人当たりに換算  
(H18.10.1現在の人口で除したもの)

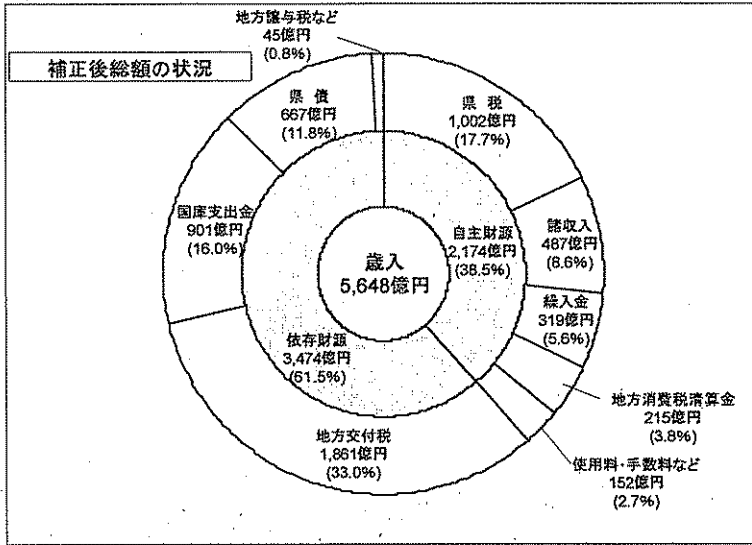


○平成18年度の清算後の地方消費税 (市町村への交付金分を除く)

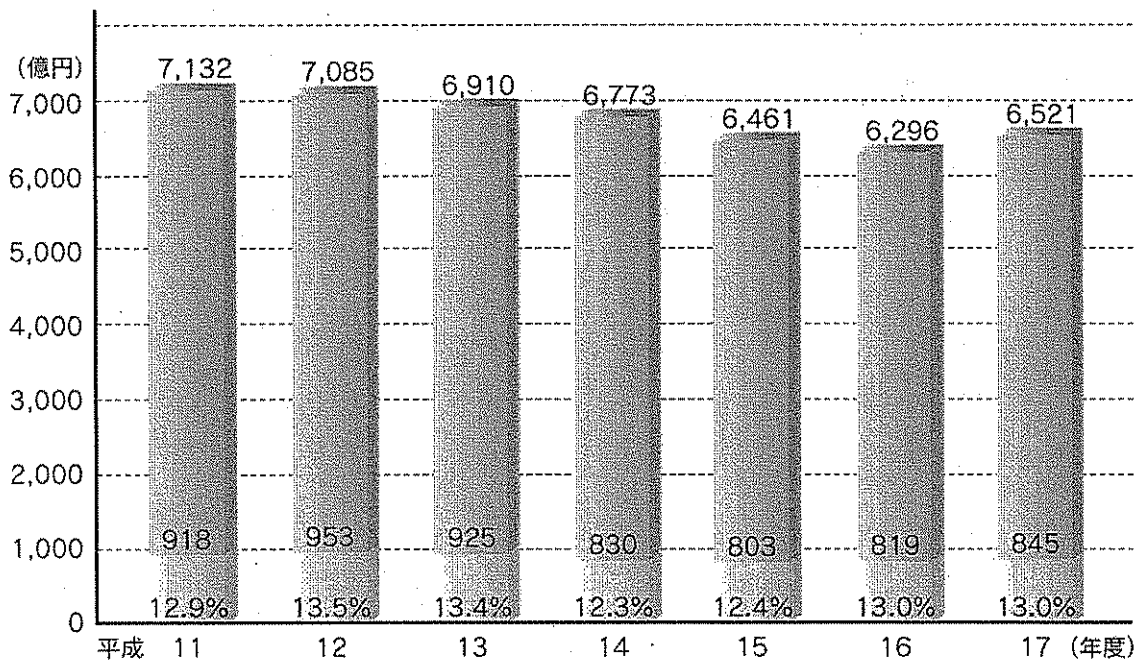


※地方消費税の全国平均については、平成17年度の実績値から推計

## 【一般会計歳入(平成19年6月補正)】



## 【一般会計歳入に占める県税の割合】



(注) 各年度の決算額 (ただし平成17年度は最終予算額) で対比しています。

## 【宮崎県の税収確保対策】

- 平成17年度 産業廃棄物税の創設  
コンビニエンスストアによる自動車税収納開始  
タイヤロック装置による自動車差押の導入
- 平成18年度 森林環境税の創設  
インターネット公売の導入
- 平成19年度 クレジットカードによる自動車税収納開始(全国初)